

2 本市の部活動地域移行 改革推進期間の方向性

フェイズ	モデル	主体	活動場所	活動イメージ
1 現行の部活動の枠内で、顧問の負担軽減や種目の充実を図る	①外部指導員活用モデル	学校	学校	部活動指導員や外部講師を活用し、部活動の業務を委ねる
	②合同部活動モデル	学校	学校	複数の学校の顧問教員が協力して、あるいは拠点校の顧問教員が複数校の生徒の部活動を指導する
2 (一部)外部化により、現行の部活動にない魅力を付加する	③外部人材アウトリーチモデル	大学等	学校／大学等の拠点	大学や団体等の専門人材が部活動を指導・支援する
	④外部プログラム開催モデル	大学等	大学等の拠点	大学や地域団体等の施設、コンテンツを活用し、プログラムを提供する
3 学校から切り離すことで、地域のスポーツ活動としての魅力を付加する	⑤民間運営モデル 1	民間事業者等	学校／民間事業者等の拠点	民間事業者や地域の団体が「ブカツ」を受託して実施する
	⑥民間運営モデル 2	民間事業者等	学校／民間事業者等の拠点	民間事業者や地域の団体が「ブカツ」を自立経営して実施する

